

令和7年度 北九州市立板櫃中学校 学校経営方針(グランドデザイン)

- 生徒の実態
→本校の教育課題
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

学校教育目標

自立・共生

～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成



＜国・市の動向＞

- ・北九州市子どもまんなか教育プラン
- ・北九州市学力・体力向上アクションプラン
- ・北九州市小中一貫教育ガイド
- ・「指導の重点」
- ・業務改善プログラム
- ・人材育成方針

目指す学校像

- ① 明るく活気にあふれ、生徒・教師が生き生きと安全で安心して生活できる学校
- ② 生徒と教師がお互いに信頼と誇り(愛校心)がもてる学校
- ③ 清潔で美しく、落ち着いた環境で生活できる学校
- ④ 保護者や地域と連携して「開かれた学校づくり」を推進し、信頼される学校

チーム板櫃の考動が支える板櫃中プライドの醸成

目指す生徒像

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

目指す教職員像

- ① 教育公務員としての使命を自覚し、生徒の成長を願う教師(不易)
- ② 責任ある態度と教育実践で保護者や地域から信頼される教師(不易)
- ③ 時代の要請に対応するため、必要な変化を恐れず挑戦する教師(流行)
- ④ “チーム板櫃”の一員として学校運営に積極的に参画し、協働意欲の高い教師

重点目標及び具体的方策の共有と実践(抜粋)

1 確かな学力・体力の向上

- ① スクールプラン達成推進委員会による組織的・計画的な取組
・「学びの質を高める授業づくり」5つのポイントを意識した授業づくり
- ② 主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造～板櫃中スタンダードの実践～
・GIGA 端末の活用促進
- ③ 家庭と連携した学習習慣・運動習慣等「学びの基盤づくり」の充実
・家庭学習習慣の定着と質の向上
・学校通信を活用した読売ワークシート通信の取組
- ④ 自律(立)した学びを実現する取組
・授業規律の徹底
- ⑤ 教室内外学習環境の充実
- ⑥ 体力向上のための授業改善
・体づくり運動を取り入れた体育の授業改善及び部活動の取り組み方の工夫改善
- ⑦ 西南女学院大学放課後英語教室の実施(予定)
- ⑧ OJT(教職員相互の学び合い)の取組の推進と指導力の向上

2 心の育ちの推進

- ① 自己実現を目指す積極的な生徒指導
・組織的・機動的な生徒指導体制の確立
・定例の生徒指導委員会→情報・行動共有の促進
・いじめ(の芽)事案、長期欠席生徒へのきめ細やかな対応⇒ステップアップルームの活用と情報共有
・定例生活アンケートの実施と活用
- ② 特別支援教育の充実
・特別支援教育推進委員会の定例化(昨年度同様)
・個別の指導計画・支援計画の作成と活用
・通級指導の情報共有
- ③ 自律した生徒を育てる生徒会活動の充実
・学級活動の充実→学年・学級目標の設定
・学級・学年が一つになる取組の促進
・対人スキルアッププログラムに基づく学級活動の充実
- ④ 思いやりの心の育成や規範意識の醸成
・話し合う道徳、心に響く道徳の時間の確保
- ⑤ 非行防止・薬物乱用防止、暴走、情報モラル等の取組の充実 *講師招聘
- ⑥ 確かな人権感覚をはぐくみ、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
・新版「いのち」を活用した授業づくり
・「明日への伝言板」等を活用した人権週間の取組
- ⑦ 部活動の適切な運営
・合理的、効果的な練習計画、適正な休養日の遵守

3 地域の特性や教育資源、生き方との関わりを生かした取組の推進

- ① 読書活動の充実を図る図書館教育の推進
学校図書館の活用促進
・年間を見通した読書活動充実のための取組
・社会に目を向けさせる掲示等の充実
・ビブリオバトルの実施(子ども図書館との連携)
- ② 望ましい勤労観・職業観を育成するキャリア教育の推進(大学・企業との連携)
・系統的・計画的なキャリア教育(進路指導)
・北九州市ゆめみらいワークへの参加
- ③ 日本の伝統文化を継承する教育の推進
・書初め大会、百人一首大会
- ④ スポーツ振興事業、SDGsの推進
・保健体育科・特別活動・部活動等を通しての取組
・総合的な学習の時間の取組
- ⑤ 健康・安全教育の推進
・交通安全教育(警察署等関係機関との連携)
・給食(食育)指導、アレルギー対応
・安全:災害種に対応した防災減災・避難訓練
・安全マップの作成 等

4 小中一貫教育の推進、保護者・地域との連携及び学校評価の充実

＜小中一貫教育の推進＞

- ・小・中合同研修会
- ・フレッシュ笑顔ミーティングの実施
- ・9年間の育ちを支える小・中ルールづくり(授業規律の在り方の共有)
- ・小中校長会議、小中一貫コーディネーター(教務主任)の連携

＜保護者・地域との連携＞

- ・板櫃中国型コミュニティスクールの実践・検証
- ・学校からの情報発信の強化(学校・学年通信、HP、いっせいメール、理事会だより等)
- ・授業参観、体育大会、文化発表会等、公開で行う教育活動の充実(小学校→中学校、中学校→小学校の積極的な交流)

＜学校経営ビジョンの共有と R-PDCAサイクルの確立＞

- ・学校経営に関する情報共有
- ・具体的な目標設定「何を、いつ、どのように」→管理職や主任の指導性の発揮
- ＜学校運営協議会の活性化＞
- ・学校自己評価と学校関係者評価の充実

- ① 小中一貫教育の推進【9年間の活動プランの作成】義務教育9年間の系統性を意識した小中一貫教育の推進●板櫃中校区の目指す子ども像の実現に向けた取組の構想●小中一貫教育年間指導計画の作成●コミュニティスクールで協議、共有、取組の決定●板櫃中学校区の実情に応じた特色ある取組
- ② 国型コミュニティスクールの実施●地域資源、地域人材の活用(人材データバンク)●取組の報告、次年度の方向性について協議

重点目標達成のために教職員で大切にしていきたいこと
＜行動指針:①生徒の安全と成長②法令遵守③組織対応④業務改善＞

◎危機管理体制・対応の徹底

＜クライシスマネジメント＞

- ・危機管理の「サシセソ」
- ・「一つ上」の対応
- ・「ほう・れん・そう・かく(報告・連絡・相談・確認)」
- ・記憶より記録

＜リスクマネジメント＞

- ・当たり前ABCDの法則の徹底
A) 当たり前のことを(B) バカにしないで(C) ちゃんとやる。それが(D) できる人である
- ・いじめアンケート、教育相談の実施
- ・特別な支援が必要な生徒の個別の支援体制の充実

◎ワークライフバランスの推進に向けた業務改善の推進

- ・選択と集中の徹底「何が必要で、何が求められているか」
- ・学年会議、運営委員会等の充実
- ・在校時間の短縮→緊急時を除く17時以降の電話・家庭訪問の自粛
- ・定時退校日、部活動休養日の遵守
- ・学校予算の効果的な執行→特に、事務処理関係機器の積極的導入
- ◎学校事務職員の学校経営への参画促進
※学校事務職員の学校における総務・財務のスペシャリスト、標準職務表の定期的な見直し、事務会議の実施

◎「時を守り、場を清め、礼を正す」

※特に机上と職員室の整理

- ◎教育公務員としてのプライドの醸成と綱紀粛正
・不祥事撲滅(体罰・不適切な指導・飲酒運転等)
- ◎教職員の健康管理(心と体の声)
・早めの受診と健康的な生活習慣
- ◎教職員の同僚性の構築
→協働体制・協働精神の発揮
→担任を一人にさせない副担任の役割
- ・個々の特長・強みを生かし合い、弱みを補い合い、共に学び合う風通しのよい職場づくり
- ・ベテランの知恵を継承するとともに、若手の豊かな発想力を支援し、互いに支え合う学校づくり